

Doc. No.: NR050726

2005年7月26日

トスバックシステムズ社とのJDF連携に合意

大日本スクリーン製造株式会社(本社：京都市上京区)のメディアテクノロジーカンパニー(社長：垣内 永次)はこのほど、株式会社トスバックシステムズ(本社：高松市/社長：松村 俊幸氏)の印刷業総合管理システムとの間でJDFによる連携を図ることに合意しました。

当社は、CIP4^{※1}が策定したJDF^{※2}に対応し、印刷会社における印刷物生産システムと営業・業務・経営を含めた情報管理システムをシームレスに統合するプリントビジネス・ソリューション「Trueflownet(トゥルーフローネット)」を展開しています。

今回の合意はその一環となるもので、多くの導入実績を持つトスバックシステムズ社の印刷業総合管理システム^{※3}「ひだりうちわ」と、当社のJDF対応ワークフローRIP「Trueflow 3(トゥルーフロー3)」との間の連携を、JDFで記述されたデータによって実現するものです。これによって、2005年9月から「ひだりうちわ」と「Trueflow 3」との間にJDF連携が可能となり、製版・刷版機の稼働実績データを経営管理システムに再入力する必要がなくなり、データの自動連動による作業コストの削減を実現します。また、受注から製版、刷版出力の完了までをトータルシステムとして管理できるため、営業部門と生産現場など異なる部署間での伝達時間の浪費や連絡ミスなどを低減し、短納期化・効率化に貢献します。

「ひだりうちわ」に登録された仕事は「Trueflow 3」にJDFで指示書が送られ、「Trueflow 3」で製版に最適化したジョブに自動変換された後、処理が実行されます。1つの仕事に対する入稿ファイル(PDF、PS)がすべてそろっていない場合は出力可能なジョブから処理を始め、突発する変更にも柔軟に対応できます。また、出力が完了したことを「ひだりうちわ」に通知することにより、工程管理・製版・印刷間が円滑に連携し、工程管理部門などからも「Trueflow 3」の処理状況を把握できます。

なお、「Trueflow 3」は2004年9月からJDFに対応しており、各社JDF対応製品との連携を順次拡大しています。

※1 CIP4

The International Cooperation for the Integration of Processes in Prepress, Press and Postpressの略。製版・印刷・印刷後加工における工程の統合のための協議会。

※2 JDF (Job Definition Format)

CIP4により定められたデジタル指示書の書式。印刷物制作・製造の全工程を包括的に記述し、管理・制御を行うことを目的とする。

※3 印刷総合管理システム

JDFに対応した経営管理システムで、充実した見積管理、きめ細かい工程管理、徹底した原価管理などが特長。印刷会社の営業・製造・経理の業務を細部にわたり円滑に推進し、経営戦略の立案を支援する。

《本件に関するお問い合わせ先》

大日本スクリーン製造株式会社
メディアテクノロジーカンパニー
営業統轄部 営業企画部 営業企画課：涌井
〒602-8585
京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目天神北町1-1
TEL：075-414-7610

株式会社トスバックシステムズ
印刷システム事業部：若狭
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-6-6 渋谷パークビル3F
TEL：03-5469-5631

●本件についてのお問い合わせ先

大日本スクリーン製造株式会社 メディアテクノロジーカンパニー 営業統轄部 営業企画部 営業企画課：
Tel 075-414-7610 Fax 075-414-7608 〒602-8585 京都市上京区堀川通寺之内上る4丁目